

ゆうあい ほっとらいん

令和2年8月・9月号
第278号



公益財団法人
調布ゆうあい福祉公社
調布市国領町3-8-1
☎042(481)7711 FAX042(483)4378

令和元年度事業報告

法人運営

・健全な公社経営

訪問介護事業、居宅介護支援事業、入間町地域密着型認知症デイサービス「ぶちぼあん」の自主三事業については、事業規模は前年度より縮小しましたが、収支は黒字決算を維持しました。

・運営体制の強化・整備

人材の確保・育成に向けて国が進める働き方改革への対応を進めました。また、管理職を対象として、人事評価制度の試行を開始しました。

・施設改修の計画・準備

懸案であった浴室等の施設改修については、令和2年度の施工・完了を予定し、準備を進めています。

事業運営

・介護予防の取組

総合事業通所型市基準サービスは、水曜日・金曜日のほか、新たに月曜日を追加し、週三回の開催となりました。

高齢期のフレイル

予防は長寿のカギ!



・地域の福祉人材の発掘・育成に向けた研修の実施

社会福祉士の実習受入れの実績は、4校4名でした。主に、在宅支援を総合的に展開する視点や手法等を学んでいただきました。また、23件の専門職研修に職員を講師として派遣し、社会的使命を果たすべく取組を行いました。

・認知症当事者と家族介護者支援の拡充

認知症サポーター養成講座事業では、年間で1,159人のサポーターを養成しました。サポーターへのフォローアップ研修では、

外部講師を招き、認知症の方の世界観を理解する講座を開催しました。



デイサービスでは、認知症の行動・心理症状(BPSD)の改善を目的として、「日本版BPSDケアプログラム」を導入しました。

・医療介護連携の推進

市内福祉団体や職能団体、行政機関等の会議に、委員や評議

員として参画し、医療介護連携に努めました。

調布市の地域連携会の一員として、市内8団体と共に、「第2回ちようふ高齢者応援大会」を開催しました。

・地域共生社会の推進

福祉講演会では、公益財団法人さわやか福祉財団の清水肇子理事長に、講演をしていただきました。

「こくりよう子ども食堂わいわい」の運営支援を行いました。

令和元年度収支決算の状況

(単位：千円)

収入の部	決算額	支出の部	決算額
事業収入	326,645	高齢者・障害者等支援事業	419,819
補助金等収入	169,702	普及啓発・人材育成・調査研究開発事業	7,520
その他の収入	10,598	管理費	69,992
収入合計	506,945	支出合計	497,331
		当期収支差額	9,614
		前期繰越収支差額	56,331
		次期繰越収支差額	65,945

※その他の収入とは基本財産受取利息と賛助会員費収入・負担金収入・寄付金収入・雑収入の合計
※公社ホームページの「公示・情報開示」に事業報告書、財務諸表を掲載しております。



対抗ゲーム

毎年恒例の紅白対抗ゲームを行いました。

今年はコロナ対策として、利用者さん同士が密にならないように距離を取り、テーブル上でのゲームを行いました。

ゲームの内容は「お手玉積み」、「お手玉投げ」、「新聞切り」、「風船バレー」、「タオル渡し」で、毎日やり方を工夫し、皆さんに楽しんでいただきました。

6つのグループに分かれての対抗戦で、点数を競い、順位も付くので、皆さん真剣です。利用者さんだけでなく、サポートで参加した運転手さんや職員まで、全員で楽しんだ一週間でした。



介護予防・日常生活支援 総合事業（市基準サービス）

表題の事業は、「楽しい仲間と続けられる運動で、いつまでも生き生きと！」をスローガンにして、事業対象者や要支援の方を対象に、週3回（月・水・金の午前中）開催しています。現在は、新型コロナウイルス感染症予防対策で、マシントレーニングを中止し、ソーシャルディスタンスを保つため、参加者を二分割するとともに時間を短縮し、前半と後半で実施しています。

利用者の皆さんからは、「歩行が楽になった」、「姿勢が良くなった」と嬉しい声も上がっています。



来訪ボランティア

センターでは1年を通して、様々なボランティアの方々にお越しいただき、楽器演奏、歌や踊りに触れる機会を設けております。

緊急事態宣言も解除され、6月は二胡の演奏で松前さんを、ピアノの演奏で田澤さんをお招きし、それぞれ素晴らしい演奏を披露していただきました。

利用者の皆さんにも、大いに楽しんでいただきました。



七夕

今年も七夕行事で、ご利用者の皆様に、短冊に願い事を書いていたいただきました。

「健康」「元気」「平和」…。皆様の願いが飾られています。



6・7月の活動報告

☆来訪

- ・二胡演奏《松前さん》（6月18日）
- ・ピアノ演奏《田澤さん》（6月19日、7月17日）

☆行事

- ・対抗ゲーム（6月4日～6日、6月8日～10日）
- ・七夕（7月1日～15日）

8・9月の活動予定

- ☆行事
- ・夏祭り
- ・敬老会

☆個人ボランティア

- 5月延べ 0人
 - 6月延べ 32人
- 皆様のご協力ありがとうございました。



デイサービスボラン ティア募集

はじめてみませんか、あな
たに出来るボランティア

飲み物をお出しするボランティア

・準備、提供など

・ご利用者とお話しながら、好
みに応じた飲み物の提供

・週1回から。活動時間は1〜
2時間程度

レクリエーションボランティア

・製作活動のお手伝い

・体操やゲーム等のお手伝い

・月何回からでも。

お楽しみボランティア

・歌や踊り、ミニ演奏会、朗読
など、一芸を發揮してください。

・個人・グループでもOK

・年1回でも。30分から1時間
程度で要相談

ご寄付でボランティア

・野菜・花の苗や種

・活動に使う墨汁・半紙・千代
紙・毛糸・手芸用品・折り紙等
お申し込み・ご相談 活動先

①調布市国領高齢者在宅サービ
スセンター(国領町3-8-1)

☎042-481-7711

②認知症対応型デイサービスぶ
ちぼあん(入間町3-22-5)

☎03-3483-1681

ぶちぼあん通信

令和2年度第1回運営推 進会議報告

6月15日に、今年度第1回目
の運営推進会議を開催しまし
た。新型コロナウイルス感染症
の影響で、少人数、短時間での
会議となりましたが、新たに民
生委員の清水利夫氏も加わり、
合計6人の委員が、新型コロナ
ウイルスへの対応に関する報告
を受け、質疑等を行いました。
会議録等は、ぶちぼあんにも
保管してあります。ご興味があ
る方は御覧下さい。



中庭の木製柵（園芸用）が新しく完成

ぶちぼあん祭り中止の お知らせ

隔年で開催している『ぶち
ぼあん祭り』は、新型コロナウイルス
感染症予防対策で、誠に
残念ではありますが、今年度は
中止することと、いたしました。

これまで隔年で、概ね10月の
土曜日に、デイサービスのお休
みを活用し、地域交流イベント
のバザーなどを実施していまし
たが、今年は参加する皆様やス
タッフの安全・健康を考慮し、
中止の決定をいたしました。

今回、バザー品の申し出をご
検討されていた皆様、またお祭
りを楽しみにされていた皆様に
は、大変残念な決定をお伝えす
ることになります。ご容赦願
います。

なお、次回、開催の折には、
どうぞよろしくお願いいたしま
す。

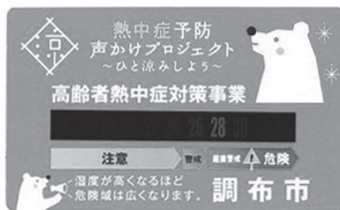
熱中症に注意

新型コロナウイルス感染症予
防対策のため、①手洗いの徹底・
マスクの着用、②身体的距離(2
メートル)の確保、③3つの密
を避ける、といった取組み、新
しい生活様式に向けた実践をお
願いしています。

マスクを着用する際は、特に
熱中症への注意が必要です。気
温や湿度が高い時期は、長時間
マスクを着用すると熱中症にな
りやすいので、こまめに水分補
給をし、人との距離を十分に空
けながら、マスクを外して休憩
を取りましょう。

調布市では、熱中症の危険性
を表示するカード型温度計を、
新たに70歳になられた方がい
らっしゃる全世帯に配布し、注
意喚起をしています。ぜひ、ご
活用下さい。

中止



栄養士

おすすめレシピ

夏を乗り切る簡単レシピ



冷製トマトのパスタ



熱中症による脱水を予防するには、様々な食品をバランスよく、3食きちんと食べることも大切です。

今回は、汗をかくことで失われがちなビタミン、ミネラル、水分が豊富で、たんぱく質も補える、和えるだけの簡単な冷製トマトのパスタを紹介いたします。

材料 (2人分)

トマト	中	2個
玉葱	小	1/4個
ツナ缶	1缶 (70g程度)	3個
プロセスチーズ	2	1/2
塩	小さじ	1/2
胡椒	適量	
オリーブ油	大さじ	2
スパゲッティ	2人	



作り方

- ① トマトとチーズは1cm程度の角切りにする。
- ② 玉ねぎは粗みじん切りにし、辛味をとるため、水にさらしザルに上げ水気を切る。
- ③ ボールにツナ缶の油を切らずに入れ、①と②を混ぜ合わせる。塩と胡椒で味を調え、風味にオリーブ油を加える。
- ④ を冷蔵庫でよく冷やす。
- ⑤ スパゲッティを茹で、ザルに上げ流水で冷やし水気を切る(冷やすと麺がしまるため少しやわらかめに茹でる)
- ⑥ スパゲッティの上によく冷えた⑤をかけて出来上がり。
- ⑦ 味が薄いようならば、塩、胡椒で調整する。
- ☆ 冷蔵庫があれば、彩りや風味に大葉や小葱、バジルの葉などを飾れば、見た目にも鮮やかに食が進みます。
- ☆ そうめんでも美味しく召し上がれます。

ケアラーを支えるグループ



市内のケアラーを支えるグループのご紹介第3弾です。

メイプルカフェ

調布駅前にあった中央公民館で出会った仲間で、2001年にメイプルフォーラムを立ち上げました。仲間の一人が提供してくれた、駅から1分のマンションの一室という地の利の良さで、それぞれの特技を生かした活動を会員制で行ってきました。長く続ける中で、高齢化と言う問題は避けては通れません。介護保険が始まり、調布介護保険策定委員の経験者や関心を持つ仲間で、2014年2月に



ケアラー支援のカフェを始めました。

最初は運営委員6名が、手探りで月1回、水曜日の2時からの開催でしたが、現在はケアラーが悩みを

相談できる機会が多い方が良く、無理のない範囲で月2回開催しています。毎回、運営委員の知り合いをはじめ、社協からの紹介などで7、8名の参加があります。

スタート時は、介護保険の利用の仕方や介護の悩みなどの話題が多く、最近では、葬儀や亡くなった後の手続きなども話題になります。包括支援センターとも連携し、必要な方には相談を紹介しています。

介護が、福祉から契約へと変わる介護保険制度に変容したことで、若い世代と接点の乏しい高齢者には、敷居が高くなったようです。スタッフとお茶を頂きながら、リラククスして話すうちに、方法が見つかることもあります。

介護で詰まっている方、ぜひおいでください。ときどき、お箏や尺八の演奏、紙芝居、絵本の朗読などもやっています。

●メイプルカフェ開催日
第2・4水曜日

☎042-481-7693
(社会福祉協議会ひだまりサロン担当)

ホームヘルプスキル アップ研修 「これから役立つ車い すの動かし方」報告

6月24日(水)、協力会員を
対象に、車いすの操作方法や注
意点に関する研修を実施しまし
た。

参加者は、車いすを押す人と
乗る人、双方の体験をし、実際
の利用者が安心してような声か
けのタイミングや、安全な乗り
降りの方法など、様々な着目点
と操作のコツについて学びまし
た。



だれでもカフェこく りよう開催報告

6月28日(日)13時から、新
型コロナウイルス感染防止で中
止していた、だれでもカフェこ
くりようを、4か月ぶりに開催
しました。

感染予防対策で三密を避け、
規模を縮小しての開催ではあり
ましたが、茶話会を中心に皆さ
んで歓談し旧交を温め合いまし
ました。

公社では今後も同様に、左記
の三密対策を取り、様々な事業
を展開する予定です。皆様の
奮ってのご参加と、ご協力をお
願い申し上げます。

- ①マスク着用
 - ②検温
 - ③対面を避けた座席配置
 - ④1時間に2回以上の換気
- なお、発熱や風邪症状がみら
れる場合、参加をお断りするこ
とがあります。



協力会員定例研修会 報告

6月30日(火)、協力会員の定
例研修会で、「認知症サポーター
養成講座」を開催し、7人の方
が参加しました。

参加された方々には、「認知
症とは？」という問いかけか
ら、実際の関わりまで、認知症
について幅広く学んで頂き、「認
知症について色々学ぶことがで
き、今後少しでも対応できるよ
うになれる」といと思っています。」
といった前向きな感想をいただ
きました。

受講者には全員に、オレンジ
リングを配布しました。



今後も、協力会員の皆さんの日頃の活動に役立つ研
修を企画・開催していきます。

ケアラー(介護者)向け 介護技術講座のご案内

ご家族等を介護していらっ
しゃる方を対象に、実演を交え、
主にご自宅での介護のコツをお
伝えする講座を、左記のとおり
開催します。

なお当日は、同じ場所の別会
場で、「だれでもカフェこくりよ
う」(12時~15時)も開催して
います。併せて、お気軽にご参
加ください。

【日時】 8月23日(日)
午後1時~2時

【場所】 調布ゆうあい福祉公社
(国領町3-8-1)

【対象】 市内在住の介護をされ
ている方・介護に関心
がある方

【費用】 無料

【講師】 調布ゆうあい福祉公社
介護福祉士

【定員】 12名(申込み順)

【申し込み・問い合わせ】

住民参加推進係



寄附のお礼と 賛助会員のご案内

調布ゆうあい福祉公社は、市民相互の助け合いと、自立支援のための質の高いサービス提供を通じて、あたたかい地域づくりを目指すことを理念に掲げ、高齢者等の在宅生活を支え、市民福祉及び地域福祉の増進に寄与する公益事業を実施しています。皆さまからの寄附金、賛助会員費は、公社の理念を実現するための貴重な財源です。

公社では、趣旨に賛同し、金品の援助をしていただける個人や団体を、賛助会員として位置づけ、募集しています。ぜひ、皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

これまでの皆様の公社へのご支援・ご協力を深く感謝を申し上げます。

【申込・問合せ】 管理係

☎042-481-7711

※公社への一定額を超える寄附金又は賛助会員費は税制上の優遇措置を受けられません。詳細につきましては、公社HPをご覧ください。



新 人 紹 介

■地域包括支援センター係



しまむら けいこ
島村 恵子

7月1日から地域包括支援センターに勤務させていただくことになりました。

身近な調布という地域でお仕事をすることになり、楽しみにしております。早く仕事に慣れて、地域の皆さんに、貢献できるように努力していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



いしはら まさき
石原 正貴

7月1日より地域包括支援センター係の一員として入職しました。

した。

関西出身で調布の知識はありませんが、地道に地域の方々と関わっていききたいと思えます。唯一の男性相談員であり、以前は、まったく違う業界で仕事をしておりましたが、少しずつ業務に慣れて、戦力として携われるよう努めていきます。ご指導よろしくお願いいたします。

■住民参加推進係



たきざわ つとむ
滝澤 勉

市民の方々同士が、「おたがいさま」の絆で、在宅支援をサポートする住民参加推進係に配属になりました。

今まで、金融機関で地域に密着したサービスを提供してきた経験を生かし、利用会員の方々お一人おひとりに、きめ細やかな支援をして参りたいと思います。協力会員の皆さんとスクラムを組んで、支援サポートして参ります。

ご寄附ありがとうございます

青柳 健康	2万円
匿名 1万円	
大西 輝雄様	そら豆
株式会社池田模範堂様	
ハンドクリーム1、020個	
匿名 ミニトマト苗・園芸用土	
匿名 マスク 2袋(約60枚)	

会員状況(令和2年6月末現在)

- 利用会員 256世帯(318人)
- 協力会員 255人
- 賛助会員 個人227人
法人7団体

訂正とお詫び

ゆうあいほつとらいん第277号(令和2年6月・7月号)3ページ「公社役員・評議員改選のお知らせ(令和2年5月)」掲載の評議員氏名に誤りがありました。

お詫びして、訂正します。
正) 荻本 末子

次号は
10月1日
発行予定
です。

